**第25期小山市農業委員会
第10回総会議事録**

令和6年3月25日

1. 開催日時 令和6年3月25日(月)午後1時30分から午後2時35分

2. 開催場所 小山市役所6階 大会議室

3. 出席委員 18人

会長 19番 大塚 稔(議長)

1番 保坂 健司

3番 篠崎 巖

4番 永嶋 朋子

5番 鶴見 礼夫

6番 田口 正剛

7番 玉野 一雄

8番 寺田 仁一

9番 黒崎 照男

10番 本橋 信男

11番 館野 強志

12番 菅沼 正治

13番 杉山 力

14番 山口 誠英

15番 山本 光康

16番 石川 政道

17番 野原 重雄

18番 柏瀬 勝彦

4. 欠席委員 1人

2番 篠原 和香子

5. 付議事件

- 議案第1号 農地法第3条第1項の規定による許可申請について
議案第2号 農地法第5条第1項の規定による許可申請について
議案第3号 非農地証明願について
議案第4号 農用地利用集積計画（利用権設定等促進事業）の決定について
議案第5号 農地中間管理事業の推進に関する法律による農用地利用集積等促進計画案について
（再配分）

- 報告第1号 農地法第18条第6項の規定による通知書について
報告第2号 農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用届出の事務局長専決処理案件について
報告第3号 農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出の事務局長専決処理案件について

6. 出席職員

農業委員会事務局

	事務局長	高橋	信雄
農地調整係	係長	高山	芳雄
	主査	金澤	卓哉
	主事	渡辺	駿介
農地利用最適化推進係	係長	中村	俊也
	主査	田熊	友裕

事務局 総会開会にあたり、出席委員数をご報告申し上げます。ただいまの出席委員数は18名であります。農業委員会法第27条第3項の規定により過半数を超えておりますので、総会は成立いたします。開会に先立ちまして、大塚会長にご挨拶をお願いいたします。

会 長 (会長挨拶)

事務局 ありがとうございます。小山市農業委員会総会規則第5条により、総会議長は会長が務めることになっておりますので、大塚会長にこれよりの議事進行をお願いいたします。

議 長 ただいまより、第10回総会を開会いたします。お手元の議事日程に基づきまして、議事を進行していきたいと思っております。

初めに、議事録署名人の選出を行いたいと思っております。いかように選出したらよろしいかお諮りします。

(議長一任との声あり)

議 長 それでは、7番玉野一雄委員、9番黒崎照男委員を議事録署名人に任命いたします。よろしくをお願いいたします。

なお、会議の書記につきましては、農業委員会事務局の金澤主査を指名いたします。

それでは議事に入ります。お手元の議案書をご覧ください。

議案第1号「農地法第3条第1項の規定による許可申請について」、事務局の説明を求めます。

事務局 議案第1号 農地法第3条農地等の権利移動に関する許可申請につきまして、ご説明を申し上げます。

議案書の2～3ページ、別紙位置図1～6ページをご覧ください。

今回は、7件の申請がございました。

まず、番号1番につきまして、ご説明申し上げます。

こちらは売買による所有権移転に関する案件でございます。

対象農地は : 畑1筆 面積 1,080㎡

権利取得後の経営面積は : 46a

農機具等の保有状況は:トラクター、草刈り機、管理機等を所有しており

労働力は: 2人

申請地は、自宅から10mのところに位置する農地です。

以上が1番でございます。

続きまして、番号2番につきまして、ご説明申し上げます。

こちらは使用貸借権設定に関する案件でございます。

対象農地は : 畑13筆田2筆 面積 30,707㎡

権利取得後の経営面積は : 307a

農機具等の保有状況は:トラクター、田植機、コンバイン等を所有しており

労働力は: 2人

申請地は、自宅から1kmのところに位置する農地です。

以上が2番でございます。

続きまして、番号3番につきまして、ご説明申し上げます。

こちらは売買による所有権移転に関する案件でございます。

対象農地は : 田2筆 面積 481㎡

権利取得後の経営面積は : 1,580a

農機具等の保有状況は:トラクター、田植機、コンバイン等を所有しており

労働力は: 2人

申請地は、自宅から80mのところに位置する農地です。

以上が3番でございます。

続きまして、番号4番につきまして、ご説明申し上げます。

こちらは売買による所有権移転に関する案件でございます。

対象農地は : 田1筆 面積 1,077㎡

権利取得後の経営面積は : 608a

農機具等の保有状況は:トラクター、田植機、コンバインを所有しており

労働力は: 2人

申請地は、自宅から4.5kmのところに位置する農地です。

以上が4番でございます。

続きまして、番号5番につきまして、ご説明申し上げます。

こちらは売買による所有権移転に関する案件でございます。

対象農地は : 畑8筆田7筆 面積 11,877㎡

権利取得後の経営面積は : 608a

農機具等の保有状況は:トラクター、田植え機、コンバインを所有しており

労働力は: 2人

申請地は、自宅から4.5kmのところに位置する農地です。

以上が5番でございます。

続きまして、番号6番につきまして、ご説明申し上げます。

こちらは使用貸借権設定に関する案件でございます。

対象農地は : 田1筆 面積 618㎡

権利取得後の経営面積は : 30a
農機具等の保有状況は:トラクター、管理機、動力噴霧器等を所有しており
労働力は: 4人
申請地は、自宅から2.2kmところに位置する農地です。
以上が6番でございます。

続きまして、番号7番につきまして、ご説明申し上げます。

こちらは使用貸借権設定に関する案件でございます。

対象農地は : 田1筆 面積 2,410㎡

権利取得後の経営面積は : 30a

農機具等の保有状況は:トラクター、管理機、動力噴霧器等を所有しており

労働力は: 4人

申請地は、自宅から2.2kmところに位置する農地です。

以上が7番でございます。

以上、7件の案件につきまして、受け人の農業機械・労働力・技術・通作距離等に問題が無く、農地法第3条第2項各号の不許可要件には該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると思われまます。また、受付後、申請書類及び添付書類を点検・補正し、現地調査を行うなどしましたところ、問題はございませんでした。

ご審議のほど、よろしく願いいたします。

議長

ただいま、事務局より説明がありましたが、引き続き、地元委員の補足説明をお願いいたします。

1番

番号1番について、補足説明をさせていただきます。本件は農地法第3条の規定による売買に関する案件です。

渡し人は農地の管理に苦慮しており、以前より農地の処分を検討していました。

そのため、申請地の近くで耕作をしている受け人に相談したところ、農業を生きがいにして
いる受け人が農地を購入することで話がまとまったため、今回の申請に及んだものです。

許可することが相当と思われまますので、ご審議のほど、よろしく願いいたします。

16番

番号2番について、補足説明をさせていただきます。本件は農地法第3条の規定による使用
貸借権設定に関する案件です。

申請地は、渡し人の娘との間で使用貸借権を設定しておりましたが、転出に伴い農地を耕作
するのが難しくなりました。

そのため、農地の貸借について、渡し人の息子である受け人に相談したところ、使用貸借権
を設定することで話がまとまったため、今回の申請に及んだものです。

許可することが相当と思われまますので、ご審議のほど、よろしく願いいたします。

12番 番号3番について、補足説明をさせていただきます。本件は農地法第3条の規定による売買に関する案件です。

渡し人は農地の管理に苦慮しており、以前より農地の処分を検討していました。

そのため、申請地の近くで耕作をしている受け人に相談したところ、農地を売買することで話がまとまったため、今回の申請に及んだものです。

許可することが相当と思われるので、ご審議のほど、よろしく願いいたします。

9番 番号4番について、補足説明をさせていただきます。本件は農地法第3条の規定による売買に関する案件です。

渡し人は農地の管理に苦慮しており、以前より農地の処分を検討していました。

そのため、受け人に相談したところ、農地を売買することで話がまとまったため、今回の申請に及んだものです。

許可することが相当と思われるので、ご審議のほど、よろしく願いいたします。

9番 番号5番について、補足説明をさせていただきます。本件は農地法第3条の規定による売買に関する案件です。

申請地は、渡し人の名義ではありますが、以前から、受け人が一体的に耕作していました。今後も耕作していく意欲があるため、名義を自身にしたいということで、話を持ち掛けたところ、売買することで話がまとまったため、今回の申請に及んだものです。

許可することが相当と思われるので、ご審議のほど、よろしく願いいたします。

18番 番号6番7番について、併せて補足説明をさせていただきます。本件は農地法第3条の規定による使用貸借権設定に関する案件です。

受け人は令和5年4月より現地研修を交えながら、いちご栽培に関する農業技術を習得しました。農地については、親族及び知人が所有している農地が就農希望地と合致したため、それぞれに相談したところ、使用貸借権を設定することで話がまとまりました。

許可することが相当と思われるので、ご審議のほど、よろしく願いいたします。

議長 ただいま、地元委員からの補足説明がありました。これより、質疑を行います。質疑のある方は、順次、発言願います。

(特になし)

議長 これにて、質疑を終了します。これより、採決を行います。

議案第1号「農地法第3条第1項の規定による許可申請について」、原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(異議なしとの声あり)

議 長

「異議なし」と認め、議案第1号「農地法第3条第1項の規定による許可申請について」、原案のとおり可決いたします。

次に、議案第2号「農地法第5条第1項の規定による許可申請について」、事務局の説明を求めます。

事務局

議案第2号 農地法第5条第1項の規定による許可申請について、ご説明申し上げます。

議案書4、5ページ、別紙位置図7～10ページでございます。

今回は、7件の申請がございました。3月15日に調査委員会第1班と事務局で現地確認を実施いたしました。

それでは、番号1番をご覧ください。

転用の目的は、一般住宅でございます。

転用しようとする土地は、畑1筆、面積499㎡。

使用貸借権の設定を伴う転用の申請でございます。

申請の理由ですが、申請人は市外のアパートで夫婦と子どもで暮らしています。近々二人目の子どもを出産予定であり、将来を見据え自己用住宅の建築を計画しました。申請地は実家に近く育児の協力を得られることから適地であり、今回の申請に至ったとのことです。

申請地は10ヘクタール以上の広がりのある一団の農地で、農地区分は第1種農地と考えられますが、集落から滲み出し的に行われる転用であり、第1種農地の不許可の例外に該当すると考えられます。

他法令につきましては、都市計画法、農振法、土地改良、盛土条例、いずれも支障なし。

取水は市水道、排水は合併浄化槽処理後水路へ放流とのことで、犬塚中久喜土地改良区からの同意を得ております。雨水は敷地内自然浸透。

周辺の隣地状況ですが、北側は宅地、東側は道路、南・西側は農地。農地との境にはコンクリートブロックを設け防除するとのことです。

資金計画につきましては、全体事業費5,400万円で、融資で賄うとのことで、融資証明書が添付されております。

以上が1番でございます。

次に、番号2番をご覧ください。

転用の目的は、一般住宅でございます。

転用しようとする土地は、畑1筆、面積570㎡。

売買を伴う転用の申請でございます。

申請の理由ですが、申請人は令和5年に結婚してから、夫婦で別居しており将来を見据え自己用住宅の建築を計画しました。妻の実家から近く、生活の協力を得られることから適地であり、今回の申請に至ったとのことです。

申請地は10ヘクタール以上の広がりのある一団の農地で、農地区分は第1種農地と考えられますが、集落からしみ出し的に行われる転用であり、第1種農地の不許可の例外に該当すると考えられます。

他法令につきましては、都市計画法、農振法、土地改良、盛土条例、いずれも支障なし。

取水は市水道、排水は合併浄化槽処理後敷地内処理。雨水は敷地内自然浸透。

周辺の隣地状況ですが、北・西側は宅地、南側は畑、東側は道路。畑との境にはフェンスを設け防除するとのことです。

資金計画につきましては、全体事業費3,600万円で、融資で賄うとのことで、融資証明書が添付されております。

以上が2番でございます。

次に、番号3番をご覧ください。

転用の目的は、牛舎・堆肥舎でございます。

転用しようとする土地は、田1筆、面積2,960㎡。

使用貸借権の設定を伴う転用の申請でございます。

申請の理由ですが、申請人は市内で畜産業をしています。ここ10年で2度の水害被害を受けており、新たに移転先の確保を計画しました。申請地は施設を集約できることから適地であり、今回の申請に至ったとのことです。

申請地は10ヘクタール以上の広がりのある一団の農地で、農地区分は第1種農地と考えられますが、農業用施設であり、第1種農地の不許可の例外に該当すると考えられます。

他法令につきましては、都市計画法、農振法、土地改良、盛土条例、いずれも支障なし。

取水は地下水、排水はなし。雨水は敷地内自然浸透。

周辺の隣地状況ですが、北側は宅地、東・西側は水路、南側は田。周りにはコンクリート擁壁を設け防除するとのことです。

資金計画につきましては、全体事業費1億8千万円で、自己資金と融資、補助金で賄うとのことで、融資証明書が添付されております。

以上が3番でございます。

次に、番号4番をご覧ください。

転用の目的は、一般住宅でございます。

転用しようとする土地は、畑2筆、面積517㎡。

売買を伴う転用の申請でございます。

申請の理由ですが、申請人は宇都宮市内に夫婦と子で暮らしています。将来を見据え自己用住宅の建築を計画しました。申請地は夫婦双方の実家から近く育児の協力を得られることから適地であり、今回の申請に至ったとのことです。

申請地は宅地雑種地に囲まれた小集団の農地で、農地区分は第2種農地と考えられます。

他法令につきましては、都市計画法、農振法、土地改良、盛土条例、いずれも支障なし。

取水は市水道、排水は合併浄化槽処理後敷地内処理。雨水は敷地内自然浸透。

周辺の隣地状況ですが、北側は畑、東・南側は宅地、北・西側は道路、農地との境には植栽を設けて防除することです。

資金計画につきましては、全体事業費3,392万円で、融資で賄うとのことで、融資証明書が添付されております。

以上が4番でございます。

次に、番号5番をご覧ください。

転用の目的は、一般住宅でございます。

転用しようとする土地は、畑1筆、面積396㎡。

売買を伴う転用の申請でございます。

申請の理由ですが、申請人はアパートで夫婦と子どもの3人で暮らしており、子どもが生まれたことから、自己用住宅の建築を計画しました。実家に近く、子育ての協力を得られることから、適地であり、今回の申請に至ったことです。

申請地は10ヘクタール以上の広がりのある一団の農地で、農地区分は第1種農地と考えられますが、集落からしみ出し的に行われる転用であり、第1種農地の不許可の例外に該当すると考えられます。

他法令につきましては、都市計画法、農振法、土地改良、盛土条例、いずれも支障なし。

取水は市水道、排水は合併浄化槽処理後敷地内処理。雨水は敷地内自然浸透。

周辺の隣地状況ですが、東・西側は道路、南側は宅地、北側は畑、農地との境には土留めを設けて被害防除することです。

資金計画につきましては、全体事業費4,231万円で、融資で賄うとのことで、融資証明書が添付されております。

以上が5番でございます。

次に、番号6番をご覧ください。

転用の目的は、調剤薬局でございます。

転用しようとする土地は、田1筆、面積1,001㎡。

売買を伴う転用の申請でございます。

申請の理由ですが、少子高齢化に伴い医療機関における患者数は増加しており、早急に地域医療の負担を軽減させるべく、建築を計画しました。申請地は整形外科に隣接しており、近隣に歯科医院もあり、患者がアクセスしやすく、調剤薬局の建築に適していることから今回の申請に至りました。

申請地は10ヘクタール以上の広がりのある一団の農地で、農地区分は第1種農地と考えられますが、既存集落からしみ出し的に行われる転用であり、第1種農地の不許可の例外に該当すると考えられます。

他法令につきましては、都市計画法、農振法、土地改良、盛土条例、いずれも支障なし。

取水は市水道、排水は合併浄化槽処理後敷地内処理。雨水は敷地内自然浸透。

周辺の隣地状況ですが、北・東側は畑、西側は道路、南側は宅地。農地との境には植栽を設

けて被害防除するとのことです。

資金計画につきましては、全体事業費6,880万円で、自己資金で賄うとのことで、残高証明が添付されております。

以上が6番でございます。

次に、番号7番をご覧ください。

転用の目的は、建売分譲でございます。

転用しようとする土地は、畑3筆、面積2,963㎡。

売買を伴う転用の申請でございます。

申請の理由ですが、受け人は不動産業を業とする法人です。小山市内においても、宅地分譲を行ってきました。申請地の周辺は住宅地が散在しており、市街化区域にも近接しております。住環境がよいため、建売分譲に適していることから、今回の申請に至ったとのことです。

申請地は大谷出張所から500m以内の農地で、農地区分は第2種農地と考えられます。

他法令につきましては、都市計画法、農振法、土地改良、盛土条例、いずれも支障なし。

取水は市水道、排水は合併浄化層処理後水路へ放流とのことで小山用水土地改良区からの放流同意が出ています。雨水は雨水浸透層で排水処理。

周辺の隣地状況ですが、北側は道路、東側は宅地、西側は雑種地、南側は山林。

資金計画につきましては、全体事業費1億2,900万円で、自己資金と融資で賄うとのことで、融資証明書が添付されております。

以上が7番でございます。

以上7件につきまして、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

議長 　　ただいま、事務局より説明がありましたが、引き続き、地元委員の補足説明をお願いいたします。

15番 　　番号1番について、補足説明いたします。

受け人は市外のアパートで生活しておりますが、2人目の子どもの出産に伴い、将来を考え、自己用住宅の建築を計画しました。申請地は実家からも近く、生活の協力も得られ、十分な敷地面積を確保できることから、適地であるため、申請に至ったとのことです。

許可することが相当と思われれます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

15番 　　番号2番について、補足説明いたします。

受け人は、昨年結婚しましたが、夫婦別居で生活しております。別居状態を解消するためにも将来を考え、自己用住宅の建築を計画しました。申請地は妻の実家からも近く、生活の協力も得られ、十分な敷地面積を確保できることから、適地であるため、申請に至ったとのことです。

許可することが相当と思われれます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

- 7番 番号3番について、補足説明いたします。
受け人は、現在市内で畜産業を営んでいますが、過去に水害の影響を受けたため、代替地の確保を計画しました。申請地は十分な面積を確保できることから、適地であるため、申請に至ったとのことです。
許可することが相当と思われれます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。
- 10番 番号4番について、補足説明いたします。
受け人は、宇都宮市内で生活しておりますが、将来を考え、自己用住宅の建築を計画しました。申請地は夫婦双方の実家からも近く、生活の協力も得られ、十分な敷地面積を確保できることから、適地であるため、申請に至ったとのことです。
許可することが相当と思われれます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。
- 10番 番号5番について、補足説明いたします。
受け人は、市内アパートで生活しておりますが、子どもが生まれたことから将来を考え、自己用住宅の建築を計画しました。申請地は実家からも近く子育ての協力も得られ、十分な敷地面積を確保できることから、適地であるため、申請に至ったとのことです。
許可することが相当と思われれます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。
- 10番 番号6番について、補足説明いたします。
受け人は、市内で調剤薬局や在宅介護事業を運営しています。申出地は近隣に整形外科や歯科医院があり、地域住民の生活にとって必要であり、調剤薬局の建築に適していることから、新生に至ったとのことです。
許可することが相当と思われれます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。
- 11番 番号7番について、補足説明いたします。
受け人は、不動産業を業とする法人です。新たな建売分譲を計画したところ、申請地の周辺は住宅街になっており、市街化区域にも近い地域であることから、建売分譲に適しているため、今回の申請に至ったとのことです。
許可することが相当と思われれます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。
- 議長 ただいま、地元委員からの補足説明がありました。これより、質疑を行います。質疑のある方は、順次、発言願います。
- 19番 市街化調整区域の農地に住宅を計画する場合は、都市計画法で一般住宅用地は500㎡の制限があるはずだが、2番と4番は開発許可が認められるのですか。
- 事務局 市街化調整区域の一般住宅用地においては今まで500㎡の制限が存在しましたが、市街化区域に隣接する大字の中で都市計画課に認められた地域においては、500㎡以上の一般住宅

用地が認められるようになりました。

15番 今回の申請地以外で500㎡以上の一般住宅用地が認められる地域を知りたいです。

事務局 今回の申請地では認められることは確認しましたが、この申請地以外にどの地域で認められているかについて、正確に把握してはございません。

議長 他に質疑はありませんか。

(特になし)

議長 これにて、質疑を終了します。これより、採決を行います。

議案第2号「農地法第5条第1項の規定による許可申請について」、原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(異議なしとの声あり)

議長 「異議なし」と認め議案第2号「農地法第5条第1項の規定による許可申請について」、原案のとおり可決いたします。

次に、議案第3号「非農地証明願について」、事務局の説明を求めます。

事務局 議案第3号 非農地証明願について、ご説明申し上げます。

議案書5ページ、別紙位置図10ページでございます。

今回は、1件の申請がございました。3月15日に調査委員会1班と事務局で現地確認を実施いたしました。

それでは、番号1番をご覧ください。

願出地は、畑1筆、面積537㎡。

願出の理由ですが、願出地は60年以上宅地として利用されてきました。土地の調査をしたところ願出地が農地であることが判明したため、今回の願出に至りました。

願出地は、空中写真により、少なくとも20年以上宅地として使用されてきたことを確認しております。

以上が1番でございます。

以上1件につきまして、ご審議のほど、よろしく願いたします。

議長 ただいま、事務局より説明がありましたが、引き続き、地元委員の補足説明をお願いいたします。

1 番 番号1番について、補足説明いたします。この件に関しまして、私も願出地の現地調査や関係者から事情を伺いました。

願出地は、60年以上前から住宅敷地として利用されてきました。土地の調査を行ったところ、願出地が農地であることが判明したため、今回の願出に及んだとのこと。

非農地で証明してやむを得ないものと思われます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

議 長 ただいま、地元委員からの補足説明がありました。これより、質疑を行います。質疑のある方は、順次、発言願います。

(特になし)

議 長 これにて、質疑を終了します。これより、採決を行います。
議案第3号「非農地証明願について」、原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(異議なしとの声あり)

議 長 「異議なし」と認め議案第3号「非農地証明願について」、原案のとおり可決いたします。
次に、議案第4号「農用地利用集積計画（利用権設定等促進事業）の決定について」、審議いたしますが、その中に委員に関する案件があります。
これは、農業委員会等に関する法律第31条に規定する「議事参与の制限」に該当しますので、この案件を先に審議したいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

議 長 それでは、はじめに議案第4号の利用権設定分のうち、7ページ記載の番号3番から10番は保坂健司委員に関する案件ですので、保坂委員は、一旦退出願います。

(保坂委員 退出)

議 長 議案第4号の利用権設定分のうち番号3番から10番について、事務局の説明を求めます。

事務局 (議案書の内容を読み上げる)

議 長 ただいま、事務局より説明がりましたが、これより、質疑を行います。質疑のある方は、順次、発言願います。

(特になし)

議 長 これにて、質疑を終了します。これより、採決を行います。
議案第4号の利用権設定分のうち番号3番から10番について、原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(異議なしとの声あり)

議 長 「異議なし」と認め議案第4号「農用地利用集積計画（利用権設定等促進事業）の決定について」の利用権設定分のうち番号3番から10番について、原案のとおり可決いたします。
保坂委員は入場してください。

(保坂委員 入場)

議 長 次に、議案第4号の利用権設定分のうち、10ページ記載の番号25番は本橋信男委員に関する案件ですので、本橋委員は、一旦退出願います。

(本橋委員 退出)

議 長 議案第4号の利用権設定分のうち番号25番について、事務局の説明を求めます。

事務局 (議案書の内容を読み上げる)

議 長 ただいま、事務局より説明がありましたが、これより、質疑を行います。質疑のある方は、順次、発言願います。

(特になし)

議 長 これにて、質疑を終了します。これより、採決を行います。
議案第4号の利用権設定分のうち番号25番について、原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(異議なしとの声あり)

議 長 「異議なし」と認め議案第4号「農用地利用集積計画（利用権設定等促進事業）の決定について」の利用権設定分のうち番号25番について、原案のとおり可決いたします。
本橋委員は入場してください。

(本橋委員 入場)

議 長 続きまして、議案第4号の所有権移転分の番号1番から4番、並びに利用権設定分のうち番号1番と2番、11番から24番、及び26番から40番について、事務局の説明を求めます。

事務局 (議案書の内容を読み上げる)

議 長 ただいま、事務局より説明がありましたが、これより、質疑を行います。質疑のある方は、順次、発言願います。

(特になし)

議 長 これにて、質疑を終了します。これより、採決を行います。
議案第4号の所有権移転分の番号1番から4番、並びに利用権設定分のうち番号1番と2番、11番から24番、及び26番から40番について、原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(異議なしとの声あり)

議 長 「異議なし」と認め議案第4号「農用地利用集積計画（利用権設定等促進事業）の決定について」の所有権移転分の番号1番から4番、並びに利用権設定分のうち番号1番と2番、11番から24番、及び26番から40番について、原案のとおり可決いたします。

次に、議案第5号「農地中間管理事業の推進に関する法律による農用地利用集積等促進計画案について（再配分）」について、事務局の説明を求めます。

事務局 (議案書の内容を読み上げる)

議 長 ただいま、事務局より説明がありましたが、これより、質疑を行います。質疑のある方は、順次、発言願います。

(特になし)

議 長 これにて、質疑を終了します。これより、採決を行います。
議案第5号「農地中間管理事業の推進に関する法律による農用地利用集積等促進計画案について（再配分）」について、原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(異議なしとの声あり)

議 長 「異議なし」と認め議案第5号「農地中間管理事業の推進に関する法律による農用地利用集積等促進計画案について（再配分）」について、原案のとおり可決いたします。

報告第1号から第3号について事務局の説明を求めます。

事務局 （報告書の内容を読み上げる）

議 長 以上で、本日の議題・報告はすべて終了いたしました。

以上をもちまして、第10回総会を閉会いたします。

この議事録は、金澤主査が作成したものであり、その内容の正当なる事を証するため署名する。

令和 年 月 日

農業委員会長

議事録署名人

議事録署名人